

地域とともにある
学校づくりのために

Community School

CS 通信

これまで発行した
CS通信や「コミュニ
ティ・スクール」に関
する情報はこちらへ



北海道 子ども地域支援

検索

《子ども地域支援グループHP》

北海道教育庁学校教育局義務教育課子ども地域支援グループ

コミュニティ・スクールの導入・推進状況

～令和元年
5月1日現在～

文部科学省は、令和元年10月30日に5月1日現在の全国のコミュニティ・スクールの導入状況をwebで公表しました (<https://manabi-mirai.mext.go.jp/document/chosa/post-3.html>)。北海道では導入校数が前年度から295校増の703校となり、国全体でも前年度から2,169校増の7,601校となるなど、道内はもとより、全国各地でCSの導入・推進は着実に広がっています。

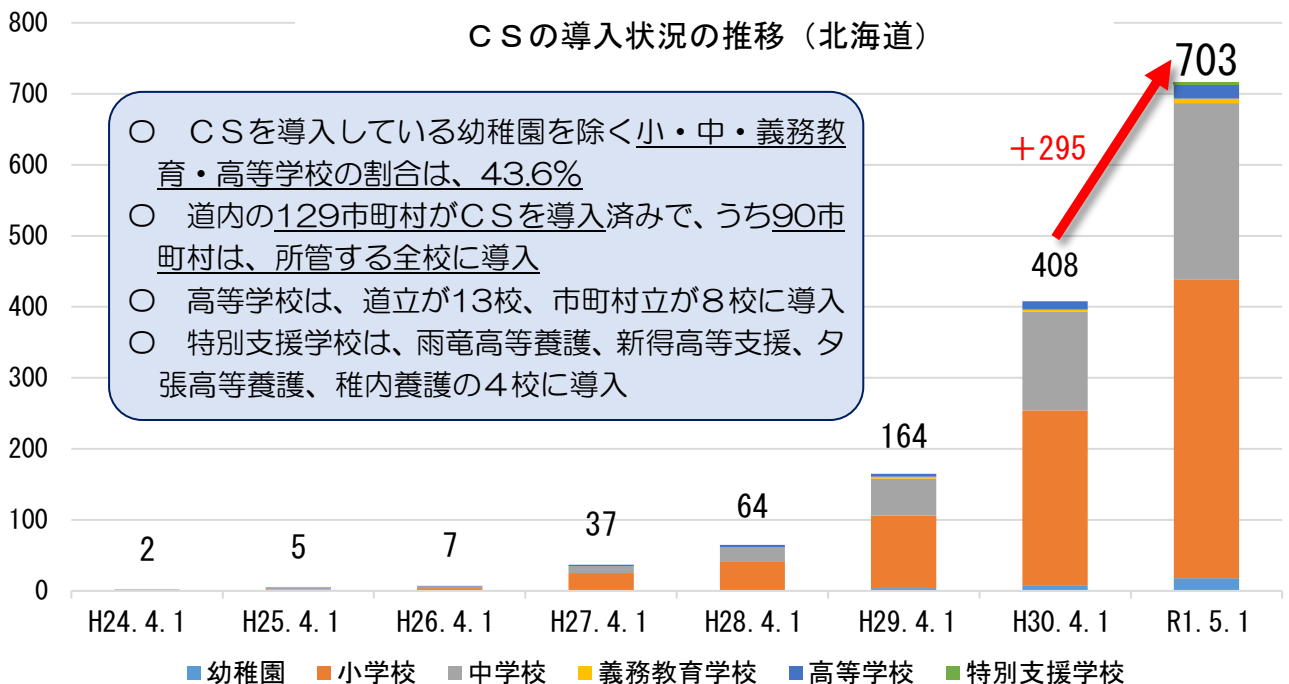
【全国及び北海道の導入状況】()内は昨年度からの増加数

※令和元年5月1日現在(札幌市を除く)

	幼稚園(幼稚園型認定子ども園を含む)	小学校	中学校	義務教育学校	中等教育学校	高等学校	特別支援学校	合計
全国 (増加数)	197 (+50)	4,618 (+1,353)	2,099 (+607)	50 (+11)	3 (±2)	507 (+125)	127 (+21)	7,601 (+2,169)
北海道 (増加数)	12 (+3)	415 (+169)	245 (+169)	6 (±3)	0 -	21 (+10)	4 (+4)	703 (+295)

北海道では、12園の幼稚園(幼稚園型認定子ども園を含む)に加えて6園の幼保連携型認定子ども園に導入されています。

CSの導入状況の推移(北海道)



＜地域学校協働活動実施状況＞

今年度のCSの導入状況調査は、CSと一体的な推進が求められている地域学校協働活動の実施状況調査と合わせて実施されました。

北海道でCSと地域学校協働本部の両方の機能が備わっている学校の割合は20.3%(全国平均14.1%)となっています。

地域学校協働活動については、当課HPに情報を掲載しているので、ぜひ参考にしてください。

「地域学校
協働活動」
に関する情
報はこちら



【担当から】 今回の調査結果から、CSの導入がより一層加速していることを実感しています。今後は、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、CSの仕組みをどのように機能させるかが取組を充実させる一つの視点になると考えています。(担当：子ども地域支援G 主査 吉村 公孝)